CS ME-Watcherユーティリティ

ユーザーズマニュアル

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

目次

第1章 はじめに

CS ME-Watcherユーティリティは、弊社の各種ネットワークカメラに対応しております。本書におきまして、CS-WMV02Gに対応していない機能が一部ございます。ご了承ください。

1. CS ME-Watcherユーティリティ

付属CD-ROMまたは、弊社ホームページからダウンロードして以下のユーティリティがインストールできます。

CS ME-Watcher再生	録画した動画を再生するユーティリティ
CS ME-Watcherモニタ	カメラの監視ユーティリティ

2. 対応コンピュータの仕様

CS ME-Watcherユーティリティをご使用いただくために以下のシステム要件を満たす必要があります。

●CS ME-Watcherのシステム要件

対応OS	Microsoft Windows XP/2000/Me/98（XP/2000推奨）
CPU	Intel Pentium4またはAMD Athlon　2.0GHz以上
メモリ	256MB SDRAM
ハードディスク	40GB以上
画面	NVIDIA GeForceシリーズ32MB以上 ATI RADEONシリーズ32MB以上

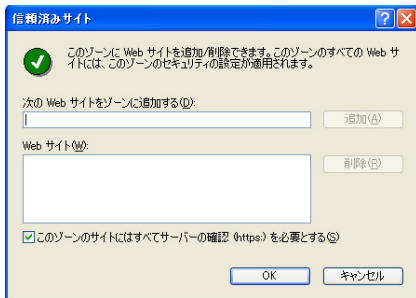
3. WEBブラウザの設定

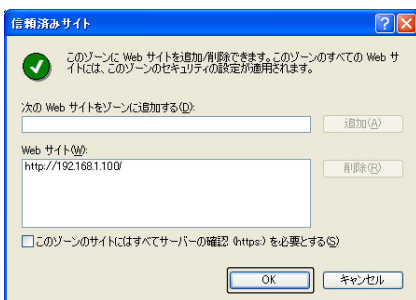
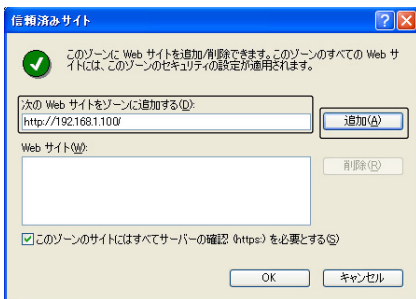
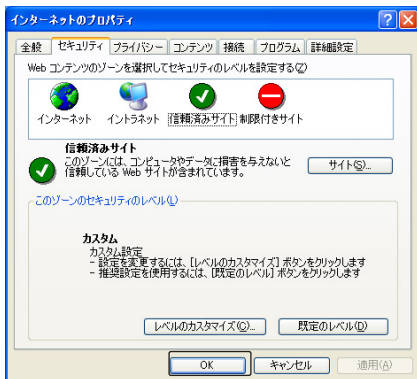
CS ME-Watcherのインストール完了後は、ユーティリティを起動する前にInternet Explorerの設定を確認/変更する必要があります。

3-1. Internet Explorerを起動します。
「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。

3-2.「セキュリティ」をクリックし、「信頼済みサイト」をクリックします。

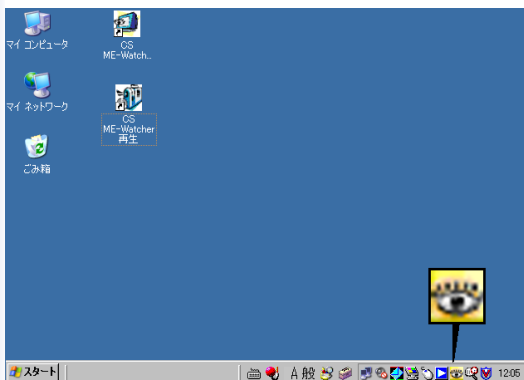
3-3.［サイト］をクリックします。

「信頼済みサイト」が表示されます。

3-4.「次のWebサイトをゾーンに追加する」にhttp://「Installation Wizardで表示されたIPアドレス/」を入力します。
（例：http://192.168.1.100/）
「このゾーンのサイトにはすべてのサーバーの確認(https:)を必要とする」のチェックボックスのチェックをオフにし、［追加］をクリックします。

3-5.［OK］をクリックします。「Webサイト」に追加されます。

3-6.「インターネットのプロパティ」に戻ります。［OK］をクリックします。

第2章 CS ME-Watcherランチャー

CS ME-Watcherユーティリティは以下の2つから構成されています。

CS ME-Watcher再生	録画した動画を再生するユーティリティ
CS ME-Watcherモニタ	カメラの監視ユーティリティ

ランチャーは、「CS ME-Watcher 再生」と「CS ME-Watcher モニタ」を素早く起動するためのコントロールです。CS ME-Watcherインストール後、タスクトレイに表示されます。

1. ランチャーのセキュリティ

■ランチャーへのログイン

コンピュータを起動後またはランチャーがロックされているときは「ログインウィンドウ」が表示されます。正しい「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックするとランチャーメニューを使用できます。間違った「ユーザ名」、「パスワード」が3回入力されると、その後60秒間は入力欄がグレーになり入力ができなくなります。

●*注意*

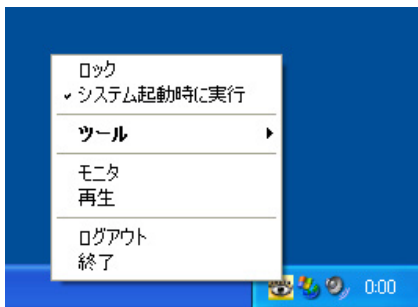
「ユーザ名」は「root」です。変更することはできません。「パスワード」は、CS ME-Watcherユーティリティのインストールのときに設定したパスワードを入力してください。

■ランチャーのロック

正しい「ユーザ名」、「パスワード」を入力後、ランチャーの機能が利用できます。コンピュータを離れるときはセキュリティのためランチャーの利用を一時的にロックできます。ロック中は、デスクトップ上のアイコンからの操作もロックされます。ロックを解除するときは再度「ユーザ名」「パスワード」を入力します。

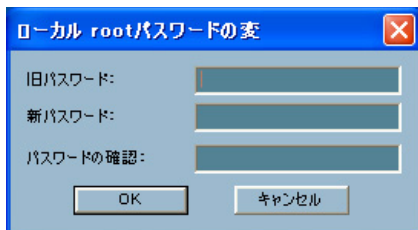
ランチャーロック中にランチャーをクリックすると、ロック解除のため以下のウィンドウが表示されます。

2. ランチャーの機能

タスクトレイのランチャーアイコンをクリックするとメニューが表示されます。

「ロック」
ランチャーがロックされます。ロック中はランチャー、デスクトップ上のアイコンからの操作ができなくなります。詳細は前項を参照してください。

「システム起動時に実行」
コンピュータ起動時にランチャーも自動的に起動します。初期設定は有効になっています。

「ツール」

「ツール」－「パスワードの変更」をクリックし、現在のパスワードを変更できます。

「モニタ」

「CS ME-Watcher モニタ」ユーティリティを起動します。

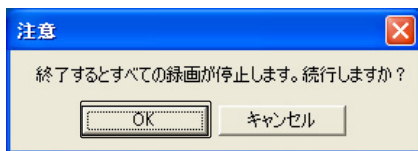
「再生」

「CS ME-Watcher 再生」ユーティリティを起動します。

「ログアウト」

ランチャーからログアウトします。

「終了」

ランチャーを終了します。確認メッセージボックスが表示され、[OK]をクリックするとタスクトレイの表示が消えます。

第3章 CS ME-Watcherモニタユーティリティ

1. CS ME-Watcherの特長

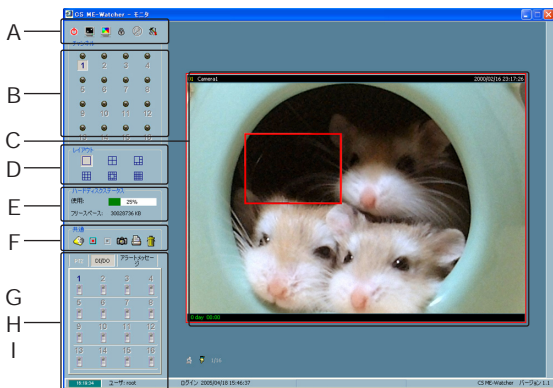
■リアルタイム監視
■パン・チルト・ズーム*（PTZ）コントロール
■録画機能
■リアルタイムの音声付き録画と同時におこなえるモニタリング
■フルスクリーン表示可能な高画質ビデオ
■高圧縮比
■最大16台までのカメラ映像を表示
■スマート再生
■プレビュー画面でトリガー・イベントの監視
■高速データベース検索
■様々なオート・アラーム
■アカウント・パスワード保護
■様々な録画モード：イベント制御、スケジュール制御、手動録画
■インテリジェント・データベース・インデックス：時間タグ、インターバル、動体検知のインデックス付け
■リアルタイム・スナップショット
■AVIファイル へのデータエクスポート
■各カメラに 3 アラート・ウィンドウで動体検知
＊CS-WMV02Gは未対応

2. CS ME-Watcher モニタの起動

「CS ME-Watcher モニタ」の起動はCS ME-Watcherのランチャーを使います。詳細は前章「CS ME-Watcherランチャー」を参照してください。

● 注意

ユーティリティ起動時に「ユーザ名」と「パスワード」の入力画面が表示されたときは、「ユーザ名」に「root」、「パスワード」にユーティリティインストールのときに設定したパスワードを入力してください。詳細は前章「CS ME-Watcherランチャー」を参照してください。

3. CS ME-Watcherモニタの各種機能

A. 各種機能エリア
ユーティリティの終了、最小化、フルスクリーン表示、ロック、アラート停止、およびカメラの設定が含まれており、カーソルをアイコンに重ねるとヒントが表示されます。

B. チャンネル・エリア
接続されている各カメラのビデオ・チャンネル状態を示します。それぞれ接続、録画、選択、イベント・アラートの状態を確認できます。

C. 表示エリア
選択されたチャンネルの映像が表示されます。表示フレームの数は、選択されたレイアウトにより異なります。

D. レイアウト・エリア
モニタレイアウトは1、4、6、9、13、16画面表示から選択できます。

E. ハードディスク・ステータス
録画データベースが保存されているハードディスクの状態を確認できます。録画ディレクトリに設定されたパスが、有効でないか存在しないとき、「フリースペース」には、「無効なパス」と表示されます。録画可能な空きスペースを表示します。

F. 共通コントロール・エリア
音量設定、手動録画開始と停止、イメージの印刷、スナップショット、及びディスプレイ・フレームからビデオを削除するためのゴミ箱があります。

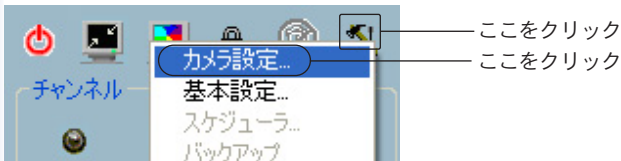
G. パン・チルト・ズーム（PTZ）コントロール
PTZコントロール、オート・パン、オート・パトロール、プリセット・ロケーションのコントロールを、選択されたビデオチャンネルごとにおこなえます。

● 注意
※ネットワークカメラの対応状況は「付録」を参照してください。

H. DI/DOコントロール
デジタル信号の入力・出力がおこなえます。

I. アラート・メッセージ
カメラから受信した最新のアラート・メッセージが表示されます。

4. カメラの映像を表示する

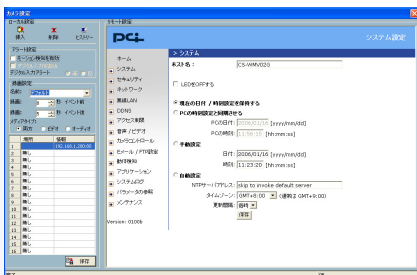
初めてログインするときは、まずカメラへの接続をおこないます。
各種機能エリアから「設定」→「カメラ設定」をクリックします。

●注意

「カメラ設定」をクリックすると、録画を中断する警告ウィンドウが表示されます。[はい]をクリックしてください。

■カメラの設定ウィンドウ

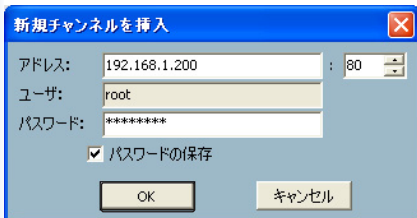
カメラの設定ウィンドウではカメラの接続をおこないます。

●注意

*選択するカメラの場所名には、「"¥ / : * ? " < > |」などの文字は使用しないでください。場所名を変更するには、WEB設定画面の「オーディオ／ビデオ」→「ビデオテキスト」を利用します。*

●ローカル設定

「挿入」

接続されているカメラをカメラリストに追加します。「挿入」をクリックすると「新規チャンネルを挿入」ウィンドウが表示されます。カメラのIPアドレス、ユーザ、パスワードを入力し［OK］をクリックします。

※WEB設定画面で管理者パスワードを設定しているときは、ここでそのパスワードを入力します。

カメラへの接続が開始され、接続が成功するとカメラがリストに追加されます。

「削除」

カメラリストから選択したカメラを削除します。

「ヒストリー」

過去に挿入したカメラを表示します。ヒストリーリストのカメラをクリックすると、カメラに素早く接続することができます。

●アラート設定と録画設定

■アラート設定

ウィンドウ内のオプションを使ってアラート設定します。

「モーション(動体)検知を有効」

モーション(動体)検知時に、「基本設定」→「アラートサウンド」で設定したアラートサウンドを連動することができます。

「デジタル入力を有効」(CS-WMV02Gは未対応)

デジタル入力トリガー時に、「基本設定」→「アラートサウンド」で設定したアラートサウンドと連動することができます。

「デジタル入力アラート」(CS-WMV02Gは未対応)

デジタル入力アラートの条件を設定します。デジタル入力は「高」または「低」を選択します。

■録画設定

「名前」

再生ユーティリティに使用されるカメラの「場所」に名前を付けたいときはここに入力します。 「デフォルト」のままにするとWEB設定画面の「ビデオ」→「ビデオテキスト」で指定した文字列に続くアンダーバー(_)とチャンネル インデックスとなります。

「録画(…)秒イベント前」

「アラート設定」したときは、トリガー・イベントが発生したら、アラート前の録画秒数を設定します。

「録画(…)秒イベント後」

「アラート設定」したときは、トリガー・イベントが発生したら、アラート後の録画秒数を設定します

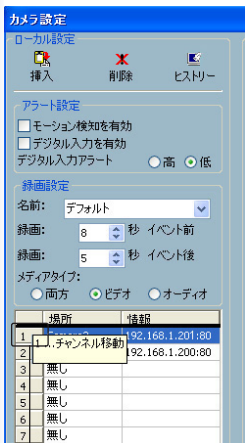
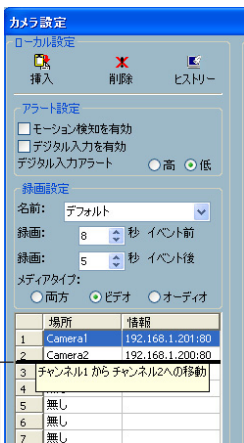
「メディアタイプ」

録画の形式を指定します。 ビデオ、オーディオ、または両方の形式を選択できます。

■リスト中のカメラの順番変更

カメラリストの順番を、ドラッグ＆ドロップで変更することができます。

1. 灰色のインデックスフィールドでマウスの左ボタンを押します。「1 …チャンネル移動」ヒントが表示されます。

2. 目的の位置までドラッグで移動します。「チャンネル1からチャンネル2へ移動」ヒントが表示されます。ボタンを放すとリストが移動します。

目的の位置までドラッグ

■変更の保存

ウィンドウ左下の[保存]をクリックすると、カメラの設定変更が保存され、直ちに有効になります。

●注意

ウィンドウの右側に表示されているWEB設定画面で設定変更をおこなったときは、各WEB設定画面の[保存]を使って保存する必要があります。WEB設定画面と当ユーティリティの[保存]は独立のボタンです。

ここをクリック

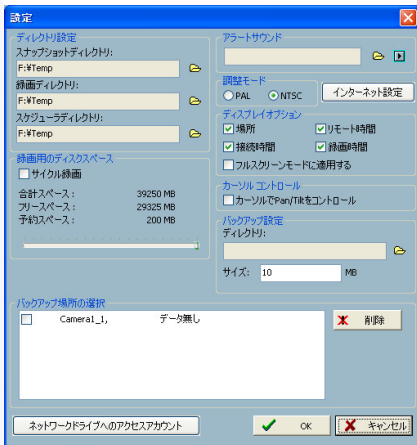
WEB設定画面で変更したら
かならず[保存]をクリック

5. 映像の基本設定

カメラへの接続が完了したら、カメラの基本設定をおこないます。
「設定」→「基本設定」をクリックします。

注意

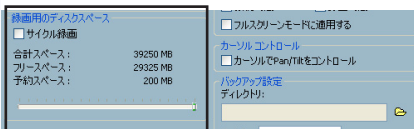
録画中に「基本設定」をクリックすると録画が中断されます。警告ウィンドウが表示されますのでご確認の上続行してください。

以下のウィンドウが表示されます。

■ディレクトリ設定

「スナップショットディレクトリ」
CS ME-Watcherモニタ、およびCS ME-Watcher再生からBMPフォーマットのスナップショットの保存場所を設定します。変更する必要がなければ初期設定のままにしてください。

「録画ディレクトリ」
録画データの保存場所を設定します。変更する必要がなければ初期設定のままにしてください。

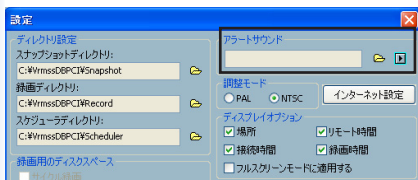
「スケジューラディレクトリ」
カメラの録画スケジュールの保存場所を設定します。変更する必要がなければ初期設定のままにしてください。

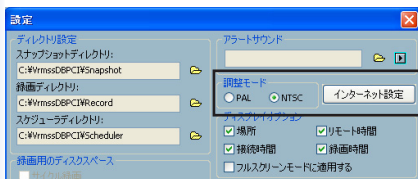
■録画用のディスクスペース

「サイクル録画」
チェックをオンにすると、指定した録画用のハードディスク容量に到達したら、データが古い順に上書きされます。それによってハードディスク領域の再利用が可能になります。

このオプションがオフのときは、指定した録画用の容量に近づくと警告メッセージが表示されます。容量に達した時点で録画が停止されます。

「予約スペース」
録画用のハードディスク容量を指定します。「サイクル録画」にチェックが入っているときは、設定した容量に達するとデータが古い順に上書きされ、録画を続けます。

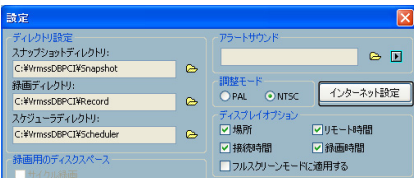
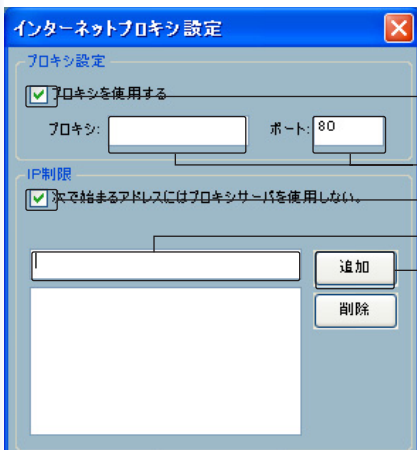
■アラート･サウンド

WAVフォーマットファイルをアラート･サウンドとして指定できます。またここで視聴もできます。

■調整モード

入力フォーマットをディスプレイにあわせて選択します。デフォルトでは日本国内で使用されるNTSCが設定されており、変更する必要はありません。

■インターネット設定

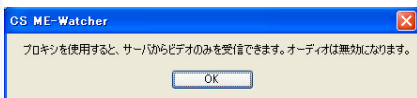
LAN内にプロキシサーバを使用する場合はここで設定をおこないます。「インターネット設定」をクリックします。

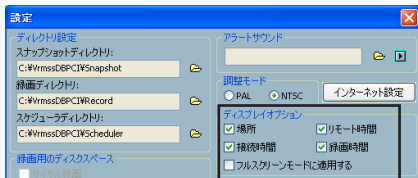
次のウィンドウが表示されます。

インターネットプロキシ設定
プロキシ設定
プロキシを使用する
プロキシ:
ポート: 80
IP制限
次で始まるアドレスにはプロキシサーバを使用しない。
追加
削除

1. チェックをオン
2. ここを入力
3. チェックをオン
4. カメラのIPアドレスを入力
5. ここをクリック

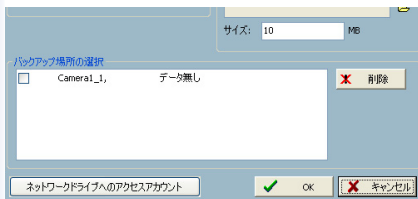
1.「プロキシを使用する」のチェックをオンにします。
2. プロキシサーバのアドレスとポート番号を入力します。
3.「次で始まるアドレスにはプロキシサーバを使用しない」をオンにします。
4. 使用しているカメラのIPアドレスを入力します。
5.「追加」をクリックします。

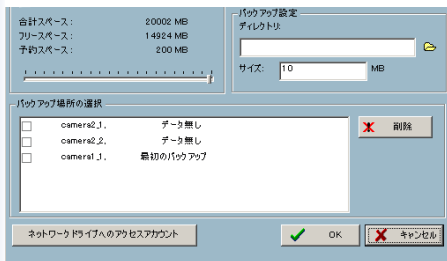
● *注意*

プロキシサーバを使用すると、音声のデータは送信されませんので映像のみ閲覧できます。以下のメッセージが表示されたら[OK]をクリックしてください。

■ディスプレイ・オプション

各カメラチャンネルの表示フレームでは、上下にステータス・バーがあります。上部は1.「カメラの場所」、2.「リモート時間」、下部には3.「接続時間」、4.「録画時間」が表示され、それぞれを表示・非表示にすることができます。

「フルスクリーンモードに適用する」のチェックをオンにすると、ステータス・バーがフレーム表示モードとフルスクリーンモードで表示されます。

■バックアップ設定

リモート・ハードディスク、外付け媒体などに、録画データを含むビデオ・データベースをバックアップできます。バックアップ媒体のディレクトリおよび容量を設定します。

■バックアップ場所の選択

ビデオ・データベースのバックアップと削除をおこないます。

バックアップしたいカメラチャンネルを左側のチェックボックスで選択します。（バックアップ操作は「バックアップ設定」（30ページ）を参照してください）

［削除］をクリックすることで、チェックされたビデオ・データを削除できます。

各チャンネルのステータス情報は、ウィンドウ内に表示されます。

・時刻表示
　最終バックアップ時間を示します。
・「データ無し」
　そのカメラチャンネルのバックアップデータは存在しません。
・「全バックアップ」
　このロケーションのすべてのデータはバックアップされています。
・「最初のバックアップ」
　ビデオデータは存在するが、バックアップはされていません。

■ネットワーク・ドライブへのアクセスアカウント

[ネットワークドライブへのアクセスアカウント]をクリックすると以下のダイアログが表示されます。録画データの保存ディレクトリ(「ディレクトリ設定」24ページ)またはバックアップの保存ディレクトリ(「バックアップ設定」30ページ)としてネットワーク上のドライブを指定した場合に、このオプションをチェックし、ユーザ名、パスワードとネットワークドメインを入力してください。

6. CS ME-Watcherモニタを使いこなそう

CS ME-Watcherモニタの詳細を説明します。

■カメラの接続

チャンネル接続

モニタユーティリティにカメラを接続するために、チャンネルエリアから表示エリアへカメラをドラッグ＆ドロップできます。

チャンネル番号の色により、ビデオチャンネルのステータスを確認することができます。下記は各色について説明します。

1. オフ（黒）

カメラがビデオチャンネルと接続されていません。

2. 緑

カメラが接続されており、表示エリアでモニタされています。緑のときは表示エリアにカメラをドラッグ＆ドロップできます。

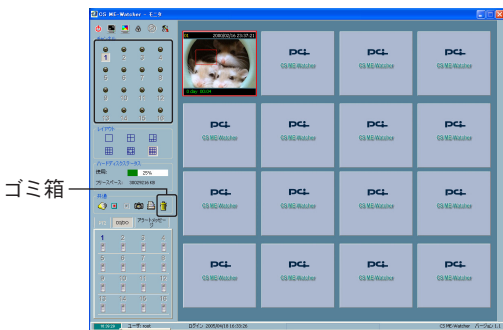
3. オレンジ

ビデオデータベースに録画中のチャンネルです。このときは表示エリアにドラッグ＆ドロップする必要はありません。当ユーティリティは、リアルタイムモニタ無しのリアルタイム録画をサポートしています。

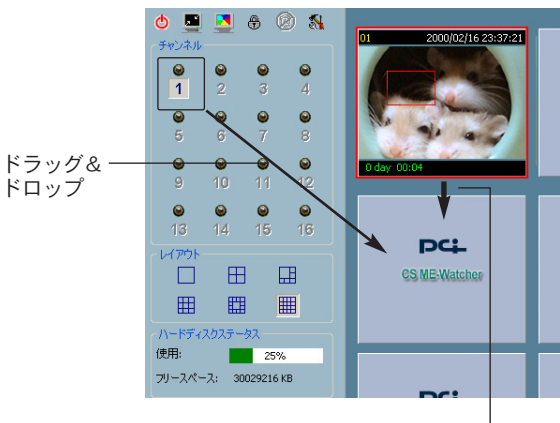
4. 赤

何らかの理由でサーバへの接続が切断され、モニタユーティリティが再接続を試みています。

5. 点滅

WEB設定画面でモーション検知が有効になっているときに、モーションの検出の際にはそのチャンネルが点滅します。

監視する必要のないビデオは、「共有」エリアのゴミ箱にドラッグ＆ドロップして削除できます。

■特定のチャンネルの映像表示

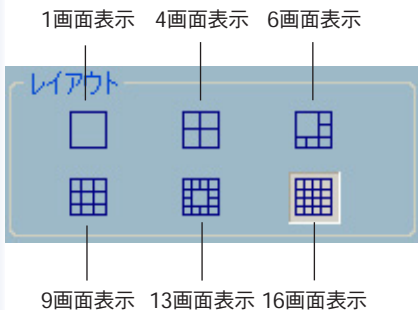
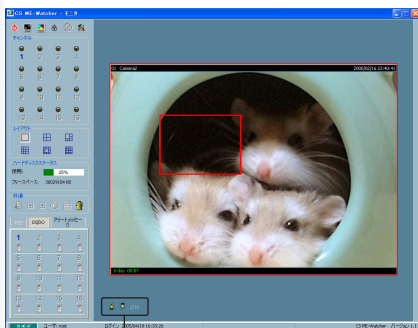
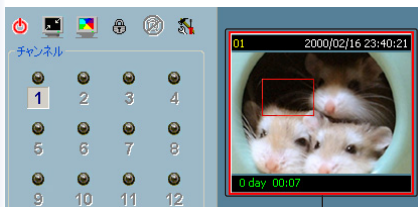
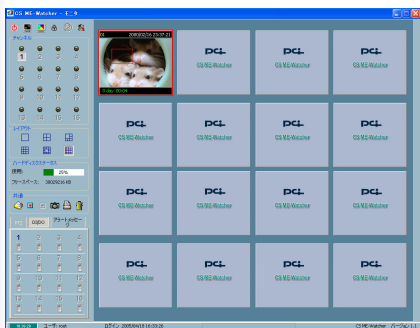
表示している場所を移動できます。
移動したいチャンネルから、表示したい場所までドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ＆ドロップ後、画面が
上から下に移動します。

１つの表示フレームでは１つのチャンネルのみが表示可能であるため、使用中の表示フレームにドラッグすることは、表示するビデオチャンネルを変更することになります。また、表示フレームを、エリア内の使用されていないウィンドウにドラッグ＆ドロップして、表示チャンネルを変更することもできます。

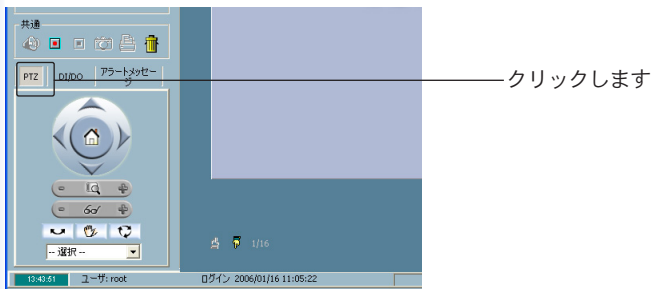
■表示フレーム内のビデオチャンネルを閉じる

閉じたいチャンネルをゴミ箱へドラッグ＆ドロップ

■**レイアウト**

モニタユーティリティには、6種類の表示レイアウトがあります。レイアウトを選択するには、レイアウトのアイコンをクリックします。

1画面表示のときには、表示エリアの左下に「前項/次項」が表示されます。各ボタンを利用してページを変更することができます。

複数画面表示時に、1つだけの映像を見たいときは、表示フレームをダブルクリックして、１画面表示と同じ大きさで見ることができます。左上の「戻る」をクリックすると、マルチ画面の状態に戻ります。

表示フレーム内をダブルクリック

16画面レイアウトで配置したビデオチャンネルの位置は、次回、16画面レイアウトを選択するときも保持されます。

■カメラコントロールツール

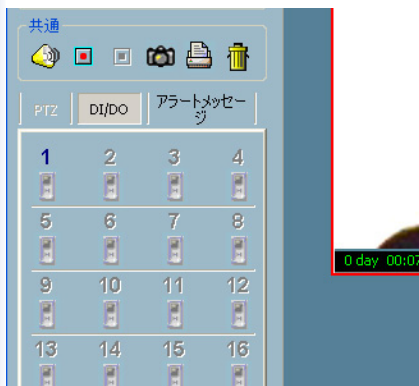
モニタユーティリティは、カメラ コントロール用に 、左下に3つのツールを備えています。PTZ（パン/チルト/ズーム）コントロール、DI/DO（デジタル入力・出力）コントロール、及びアラート・メッセージの各ツールは、タグをクリックして選択します。

「PTZコントロール」

PTZ(パン/チルト/ズーム)コントロールは、選択されたカメラの水平方向(パン)、垂直方向(チルト)、およびズームをコントロールできます。PTZのコントロールとともに、WEB設定画面で指定したプリセット・ロケーションにも移動できます。

●注意

・ネットワークカメラの対応状況は「付録」を参照してください。
・オートフォーカス機能 およびズーム機能は、CS-WMV02Gでは未対応です。

■DI/DOコントロール（CS-WMV02Gは未対応）

DI/DO（デジタル入力・出力）コントロールは、DI/DOコントロールの権限を与えられたユーザのみ使用できます。チャンネル番号の色でDI（デジタル入力）の状態がわかるようになっており、スイッチボタンをクリックしてデジタル出力の高低を切り替えられます。

チャンネル番号の色の違いは下記の通りです。

「オフ（グレー）」

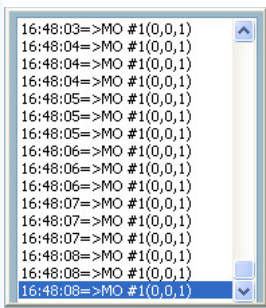
そのチャンネルにカメラが接続されていません。

「赤」

デジタル入力レベルが「高」です。

「青」

デジタル入力レベルが「低」です。

■アラート・メッセージ

当ユーティリティの「設定」→「カメラ設定」の「アラート設定」で「モーション(動体)検知を有効」または「デジタル入力を有効」にチェックをオンにした場合は、アラートが発生するとこのウィンドウ内にメッセージが出力されます。

以下はメッセージのフォーマットを示します。

“時間”=>”アラート・タイプ” #”チャンネル番号”(“ウィンドウ1”,”ウィンドウ2”,”ウィンドウ3”)
例：
「02:41:00=>MO #1(0,1,1)」
午前02:41:00に、チャンネルのカメラの検出ウィンドウ２とウィンドウ３でモーション検知されました。
「14:41:56=>DI #1」
午後 02:41:56に、１番目のデジタル出力でアラートがトリガーされました。

■バックアップ

バックアップは、録画されたビデオデータを他のメディアに保存することができます。保存場所やデータのサイズを「設定」→「基本設定」の「バックアップ設定」で指定します(30ページを参照)。また、バックアップされたデータを、DVD-RAM、MOなどのリムーバブル媒体に複製できます。

バックアップ設定をおこなった上で(「バックアップ場所の選択」31ページ)、「設定」→「バックアップ」をクリックすることで、バックアップを開始します。バックアップ中は、カメラのWEB設定画面での設定および当ユーティリティでの設定が変更できません。

■バージョン情報

「設定」→「バージョン情報」をクリックすると、ユーティリティの名称、バージョン、ユーザ情報などが表示されます。

■その他の機能

これらの機能は選択されたチャンネルに関係なくグローバルに動作します。

1.「終了」
CS ME-Watcherモニタを終了します。

2.「最小化」
CS ME-Watcherモニタを最小化します。

3.「フルスクリーン」
フルスクリーン表示に変更します。もとに戻すにはキーボードのESCキーを押すか、画面をダブルクリックします。

4.「ロック」

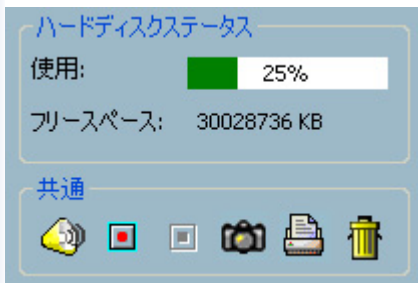
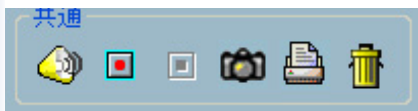
ユーティリティのメインウィンドウをロックします。
コンピュータを離れるときは、セキュリティの理由でユーティリティを終了あるいはロックすることをおすすめします。「ロック」をクリックするとメインウィンドウが閉じ、ログイン画面が表示されます。メインウィンドウに戻るには管理者パスワードが必要になります。

5.「アラート停止」

アラート発生時にアラート音が鳴ったときは、このボタンをクリックすることで音を消すことができます。

6.「設定」

メニューにはカメラ設定、基本設定、スケジュール、バックアップ、バージョン情報などがあります。

■共通コントロール機能

これらの機能は選択されたチャンネルのみに対して反映されます。

「音量」
選択したチャンネルの音量を調整します。

「録画」
選択したチャンネルの映像を、手動録画します。

「録画停止」
選択したチャンネルの録画を停止します。

「印刷」
ウィンドウ内に表示されている画像を印刷できます。

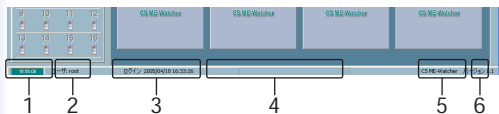
「スナップショット」
選択したチャンネルの映像のスナップショットを撮ることができます。スナップショットはビットマップ形式（.bmp）で保存されます。
スナップショットの保存場所は「設定」→「基本設定」の「スナップショット・ディレクトリ」で指定できます。

「ゴミ箱」
表示中のビデオチャンネルをゴミ箱へドラッグ＆ドロップすることで、接続を切断できます。

音量、録画、録画停止、印刷、およびスナップショットの各機能は同時に複数のカメラに適用できます。

注意：マルチカメラ・コントロールの機能

PTZコントロール、音量、録画、録画停止、印刷、およびスナップショットの各機能は、同時に複数のカメラに対して実行できます。
表示フレームから複数のカメラを選択するには、キーボードの「CTRL」を押しながら追加選択します。複数カメラの選択は表示エリアだけで、チャンネルエリア上ではできません。

■ステータス・バー

1.「時刻」
現在の時刻

2.「現在のログイン・ユーザ」
現在ログインしているユーザ名

3.「ログイン時間」
ログインした時刻

4.「ステータス・メッセージ」
バックグラウンド・オペレーションのヒント（例えばデータベースの修復や、ロケーションなど）

5.「ソフトウェア名」
当ユーティリティの名称

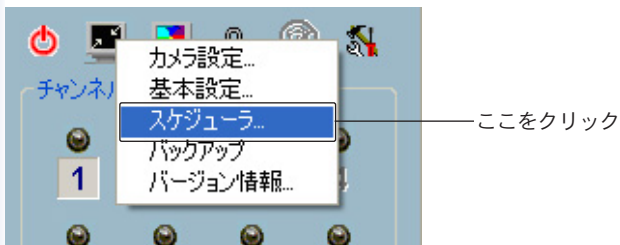
6.「ソフトウェア・バージョン」
当ユーティリティのバージョン

7.スケジュール設定

モニタユーティリティのスケジューラを使って、カメラ映像の録画タイミングを簡単に設定することができます。

スケジューラの特長
・使いやすいグラフィカル・インターフェース
・フレキシブルなスケジュール設定に対応
・各ビデオチャンネルごとにスケジール設定可能
・各ビデオチャンネルごとに9つまでのスケジュールをサポート
・自動の周期的な録画をサポート

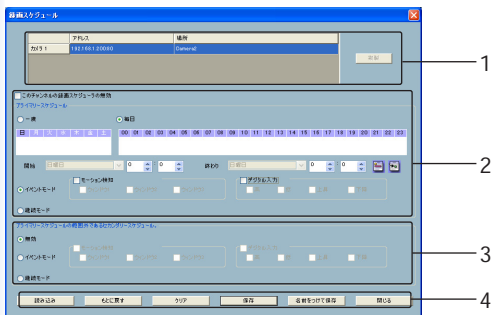
7-1. スケジューラの起動

モニタユーティリティの「設定」→「スケジューラ」をクリックします。

● *注意*

スケジューラを起動する前に「カメラ一覧に」一台以上のカメラが存在していることを確認してください。

7-2. スケジューラの各種機能

■概要

以下の図はスケジューラのレイアウトと各機能を示しています。

スケジューラのレイアウトは4つのメイン部分から構成されています。

1. ビデオチャンネル選択エリア

接続済みのカメラ(ビデオチャンネル)のIPアドレスおよび場所が表示されています。ここでビデオチャンネルを選択してスケジュール設定に入ります。また、上部には一時的スケジュールを編集・保存するためにスペースが設けられています。

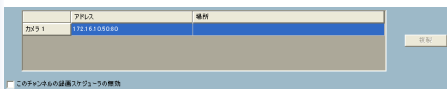
2. プライマリースケジュール

曜日と時刻の設定、および開始/終了時間とイベントモードを指定できます。

3. セカンダリースケジュール
プライマリースケジュールの範囲外にあるスケジュールを設定します。セカンダリースケジュールはイベントモードベースのスケジュールとなります。

4. スケジューラ操作ボタン
設定または編集したスケジュールを操作するボタンが設けられています。[閉じる] はスケジューラを終了するときに使用します。

■設定項目の使い方

スケジューラの各部分の詳細について説明します。

ビデオチャンネル選択エリアではカメラを選択します。チャンネルの列をクリックするとスケジュール ウィンドウが表示されます。WEB設定画面にて場所が設定されているときは、各ビデオチャンネルのIPアドレスとともにロケーションが表示されます。

● *注意*

このエリアでは、選択されたビデオチャンネルを切り替えると変更が自動で保存されます。

■スジュール操作ボタン

スケジュール操作用に6つのボタンが設けられています。

[読み込み]

選択されたビデオチャンネル用に、スケジュールファイルを読み込みます。

●注意

「読み込み」を実行する前に編集中のスケジュールを保存してください。保存しなかったときは変更が失われますのでご注意ください。

[もとに戻す]

設定を元に戻します。最後に保存した状態まで取り戻すことが可能です。

[クリア]

編集中のスケジュールの設定をクリアします。

[保存]

編集中のスケジュールの設定を保存します。

[名前をつけて保存]

編集中のスケジュールを、デフォルト以外の名前で保存します。

[閉じる]

スケジューラを終了します。

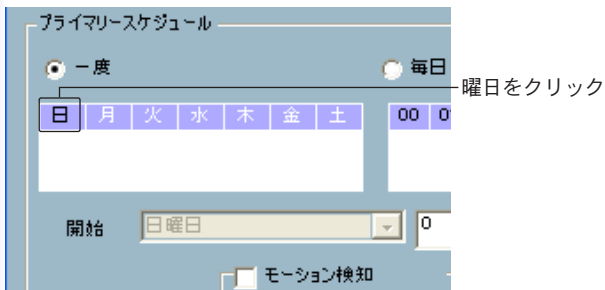
7-3. プライマリー スケジュール

スケジュールを、曜日と時刻ベースで設定します。時刻設定と曜日設定を組み合わせながら、柔軟なスケジュールを立てることができます。

■曜日設定

以下の図は曜日設定バーを示しています。

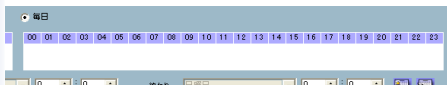
● *注意*

> *プライマリースケジュールの「毎日」オプションが選択されているときは、曜日の指定はおこなえません。*

■録画時間の指定および解除

目的の曜日をクリックし、マウスの左ボタンを使って、下の白い設定バー内で録画設定する時間帯をドラッグして設定します。設定は自動的に時刻設定バーに反映されます。設定後は、赤色の帯が表示されます。マークを解除するにはマウスの右ボタンを使って、赤色の帯をドラッグします。

設定は下のプルダウンリストにも自動で反映されます。

■時刻設定

以下の図は時刻設定バーを示しています。

録画時間の指定は、時刻設定バーでもおこなえます。マウスの左ボタンで設定バーをマークし、右ボタンでマークを解除します。設定は自動的に曜日設定バーに反映されます。

■プルダウンリストから録画時刻の指定

録画開始/終了時間はプルダウンリストから曜日、数字を指定することでも設定できます。

「開始」
録画開始を「曜日」、「時間」、「分」単位で指定します。

「終わり」
録画終了を「曜日」、「時間」、「分」単位で指定します。

「選択された期間をスケジュールに適用する」
設定したスケジュールを適用します。

「選択された期間のスケジュールを消去」
設定したスケジュールを解除します。

●*注意*
開始時間は終了時間より早くなければ設定が適用されません。

■スケジュールの適用および消去

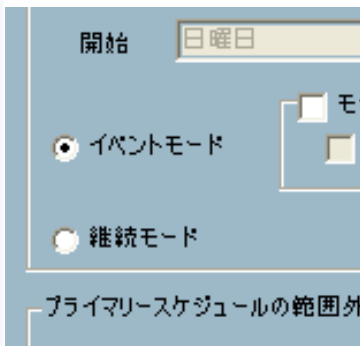
録画開始/終了時間を設定した後、スケジュールを「一度」のみ実行するか、あるいは「毎日」実行するように指定することができます。「毎日」が指定されているときは、曜日の指定が不要になり、曜日の選択ができなくなります。

最後に［適用］をクリックしてスケジュール情報を編集中のスケジューラに追加します。また、［消去］をクリックすることでスケジュール情報をクリアできます。

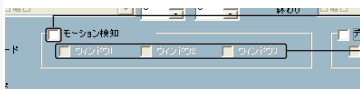
●注意

［適用］をクリックしない限りスケジュール情報は有効になりません。スケジュール情報の設定が終わったら必ず［適用］をクリックし、情報を編集中のスケジュールに追加してください。

■イベントモード

モード選択エリアでは「イベントモード」、あるいは「継続モード」を指定することができます。

● イベントモード

スケジュールで設定された時間内にイベントが発生したら録画開始します。イベントは「モーション(動体)検知」と「デジタル入力」いずれかを指定します。

・モーション(動体)検知

録画したい検出ウィンドウを選択します。

・デジタル入力（CS-WMV02Gは未対応）

デジタル入力の条件は4つあり、録画を開始させる条件を選択します。

「高」
入力電圧が高くなると録画が開始されます。

「低」
入力電圧が低くなると録画が開始されます。

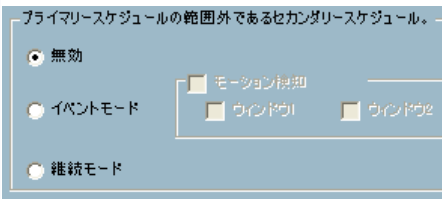
「上昇」
入力電圧が上昇すると録画が開始されます。

「下降」
入力電圧が下降すると録画が開始されます。

● 継続モード
スケジュールで設定された時刻間に継続的に録画します。

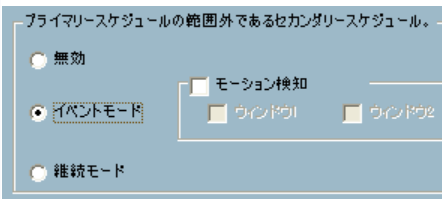
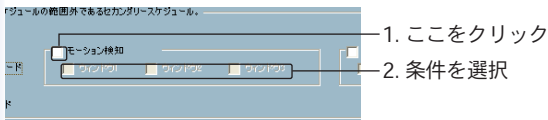
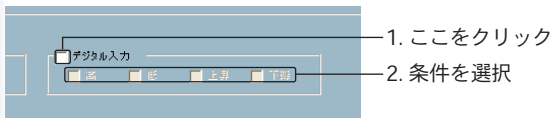
7-4. セカンダリースケジュール

セカンダリースケジュールは、プライマリースケジュールで指定した以外の時刻を示しています。イベントモードベースのスケジュールとなります。

■スケジュールモード

● 無効

セカンダリースケジュールを無効にします。

● イベントモード

録画を開始させるイベントを指定します。イベントは「モーション検知」と「デジタル入力」のいずれかを指定します。

・モーション(動体)検知

録画したい検出ウィンドウを選択します。

・デジタル入力（CS-WMV02Gは未対応）

デジタル入力の条件は4つあり、録画を開始させる条件を選択します。

「高」

入力電圧が高くなると録画が開始されます。

「低」

入力電圧が低くなると録画が開始されます。

「上昇」

入力電圧が上昇すると録画が開始されます。

「下降」

入力電圧が下降すると録画が開始されます。

● 継続モード

録画を継続的におこないます。

第4章 CS ME-Watcher再生ユーティリティ

1. CS ME-Watcher再生の特長

CS ME-Watcher再生を使用することにより、録画した動画のデータベースを簡単に閲覧・検索することができます。

CS ME-Watcher再生の表示モード

・ 通常表示モード
・ イベントプレビューモード

CS ME-Watcher再生の再生モード

・ フルレンジ
・ 時間帯
・イベントのプレビュー

強力な再生コントロール機能

・再生
・停止
・一時停止
・早送り
・高速再生（×1～×16）
・スロー再生（/1～/16）

便利な表示調整機能

・ズームイン（1:1〜2.25:1）※
・ズームアウト（1:1 〜1:2）※
・フルスクリーン表示

※CS-WMV02Gでは未対応

柔軟性に優れた検索機能

・ユーザ入力（フルレンジ〜1秒）
・ズームイン（フルレンジ〜10秒）
・ズームアウト（最大フルレンジまで）
・ページ検索
・フルレンジ

その他様々な機能

・AVIファイル変換
・BMPファイルスナップショット
・プリンタへ直接出力
・音量調整

システム制御機能

・ウィンドウ固定
・システム設定
・最小表示

その他の機能

・場所選択
・アラートウィンドウの選択

2. CS ME-Watcher再生の起動

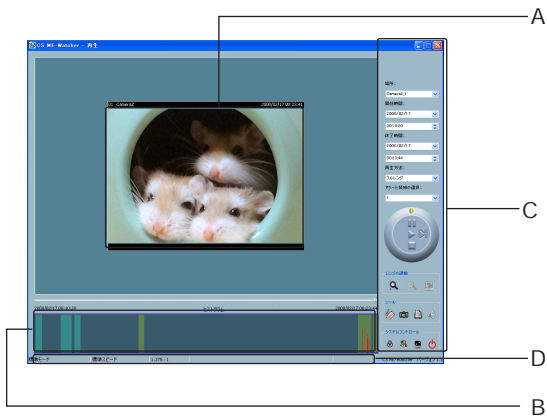
「CS ME-Watcher 再生」の起動はCS ME-Watcherのランチャーを使います。詳細は第2章「CS ME-Watcherランチャー」を参照してください。

●注意

ユーティリティ起動時に「ユーザ名」と「パスワード」の入力画面が表示されたときは、「ユーザ名」に「root」、「パスワード」にユーティリティインストールのときに設定したパスワードを入力してください。詳細は第2章「CS ME-Watcherランチャー」を参照してください。

3. CS ME-Watcher再生の各種機能

CS ME-Watcher再生にログインすると、以下のメインウィンドウが表示されます。

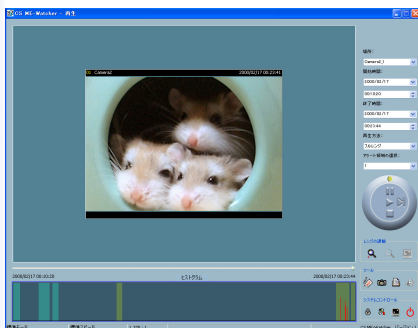
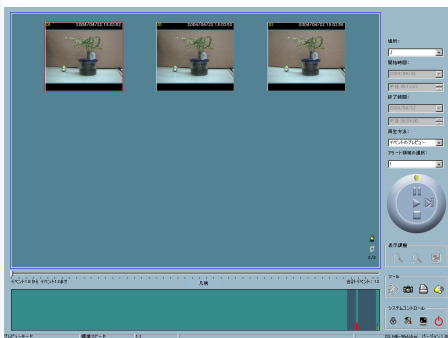
●注意
表示解像度は、1024×768以上を推奨します。

メインウィンドウの構成：

A　表示エリア
B　ヒストグラムエリア
C　コントロールエリア
D　ステータスエリア

■各エリアのレイアウトと機能性

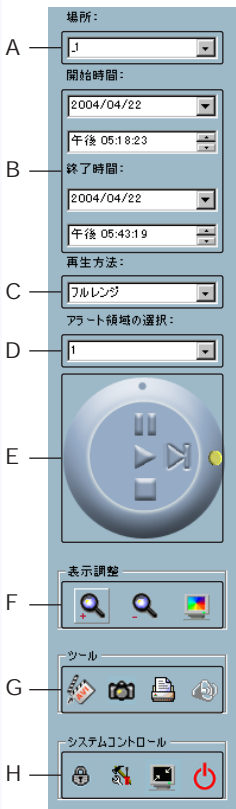
各カメラのビデオ・データベースを3つの方法で表示することができます。

1. 発生したイベント順
2. アラート順
3. 時間順

以下の図は時間順表示 （通常表示モード)を示します。

以下の図はイベント順の表示(イベントのプレビューモード)です。

「ヒストグラムエリア」

ヒストグラムエリアは対話式のコントロールです。イベントの時間内の位置と、モーションの変化比率が確認できます。また、イベントヒストグラムエリア内でイベントの期間またはイベントグループ(複数のイベントを一括して)を選択し、表示エリアに表示させることもできます。

ヒストグラムエリア

「コントロールエリア」
データベースを閲覧するのに必要なすべてセレクタおよびツールボックスが含まれています。

A「場所」
…………ロケーションの選択

B「開始/終了時間」
……………………時間帯の選択

C「再生方法」
………………再生方法の選択

D「アラート領域の選択」
…………アラート領域の選択

E「再生コントロール」
……………再生コントロール

F「表示調整/レンジの調整」
………………………表示調整

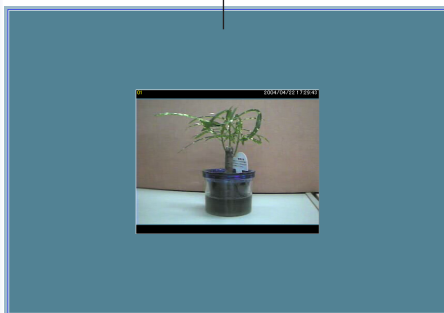
G「ツール」
……………データ出力の選択

H「システムコントロール ツール
……………システム設定機能

「ステータスエリア」

メインウィンドウの一番下に表示されます。表示モード、表示サイズ、表示スピード、エクスポートファイル形式、およびエクスポートファイル名などの情報を示します。

■インジケータ

「エリア選択インジケータ」
表示エリアが囲まれている青い枠が「エリア選択インジケータ」です。マウスで表示エリア、またはヒストグラムを選択することで「エリア選択インジケータ」の位置が変わります。表示エリア選択時は、コントロールエリア内に「表示調整」が表示されます。ヒストグラムエリア選択時は、コントロールエリア内で「表示調整」が消え、かわりに「レンジの調整」が表示されます。

「フレーム選択インジケータ」

「イベントのプレビュー」モードでのみ表示され、イベントプレビューフレームを囲む赤い枠として表示されます。フレームを選択したら、コントロールエリアのジョグダイアルを使って、フレームの再生ステータスをコントロールできます。

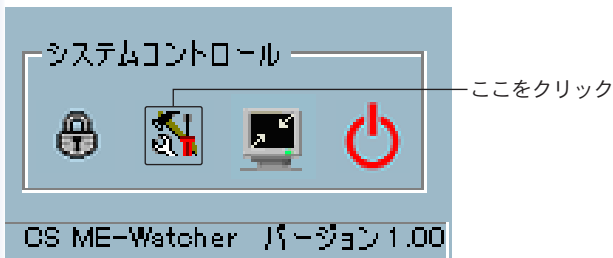
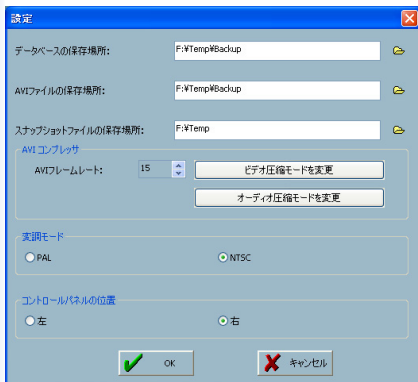
■プルバー

プルバーのインジケータを使って、選択された期間内でデータを検索できます。インジケータをクリックまたはプルダウンして、見たい時間に移動できます。そのとき表示中の動画はいったん停止し、選択された時点から再生を開始します。動画が一時停止状態であるときは、表示エリアに選択された時間ポイントが表示されますが、再生はされません。

●注意:

プルバーは、イベントプレビューモードでは動作しません。

4. システム設定

「システムコントロール」の「設定」をクリックします。

以下のような設定ダイアログが表示されます。

「データベースの保存場所」

モニタユーティリティで録画されたデータの保存場所を指定します。初期設定のままで問題なければ変更する必要はありません。

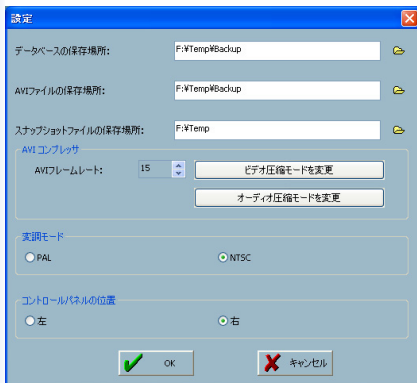
●注意

録画データが存在しない場所を指定すると、当ユーティリティが正常に動作しませんのでご注意ください。

「AVIファイルの保存場所」

録画データをAVIファイルにエクスポートする際、データが保存される場所を指定します。

「スナップショットファイルの保存場所」

スナップショットファイルを撮るとき、データが保存される場所を指定します。

「AVIコンプレッサ」

AVIファイルの圧縮モードを変更できます。ただし、24ビットカラーのみ使用します。

AVI圧縮モード選択時は、ご使用コンピュータでサポートしている圧縮形式をオーディオおよびビデオ用に選べます。

● *注意*

圧縮方法はコンピュータインストール時の設定に依存します。選択可能な圧縮形式もご使用コンピュータによって異なります。

「変調モード」

デフォルトではNTSCが選択されています。日本国内ではNTSCが使用されていますので変更する必要がありません。

「コントロールパネル位置」

コントロールエリアを、メインウィンドウの左または右側に表示するように指定します。

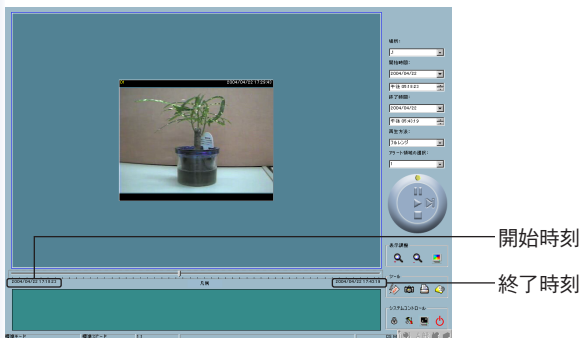
5. 標準モード(シングルフレーム)

フレーム一つのみを表示する標準モードは、以下のいずれかの方法で選択します。

(1)「システムコントロール」の「設定」でデータベースのパスを変更する

(2)コントロールエリアの「場所」で、別位置を選択する

(3)「再生方法」を「フルレンジ」に変更する

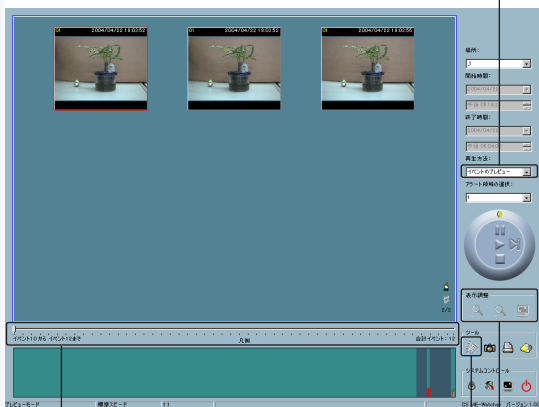
(4)「再生方法」を「時間帯」に変更する

標準モードでは、「ページコントロール」を使用しませんが、その他のすべての機能が利用できます。同モードでは、プルバー下で期間の開始時刻および終了時刻がそれぞれ表示されます。

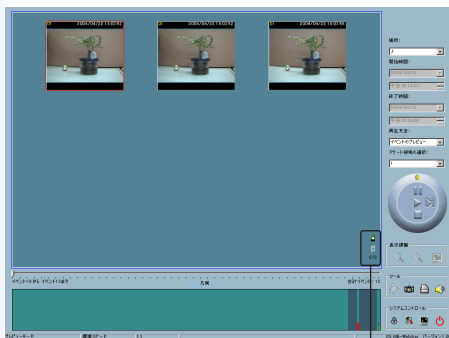
「ヒストグラムエリア」

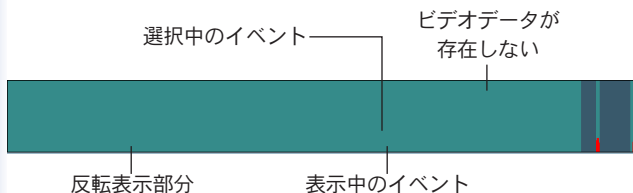
ヒストグラムエリアにアクセスするには､カーソルでヒストグラムエリアを選択します。

標準モードでは、ヒストグラムエリアがイベントの発生時間および動体検知の変動比率のみ示します。
特定の時間インターバルを見たいときは、マウスの左ボタンを押したまま目的の部分をドラッグします。
マウスの左ボタンを離した時点で、選択した範囲がヒストグラムエリア全体に拡大されます。反転表示されている部分が、当ユーティリティがこれから表示する新しい時間帯となります。
ドラッグせずにマウスの左ボタンをクリックすると、選択された時点に移動して表示フレーム内にビデオを再生します。ヒストグラムの灰色の部分は、同時間帯にビデオデータが存在しないことを示します。

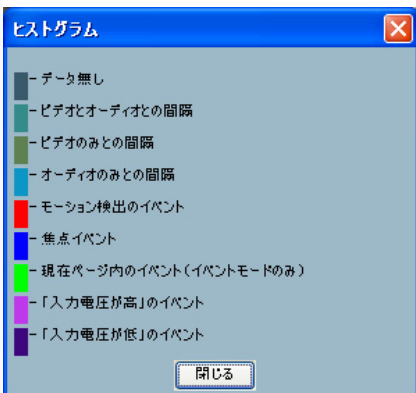
6. プレビューモード（マルチフレーム）

プレビューモードは、「再生方法」セレクタを「イベントのプレビュー」に変更して選択します。同モードでは、イベントを引き起こしたオブジェクトをリアルタイムの動画プレビューで確認できます。プレビューモード中は、プルバー、エクスポートツールボックス内の「トランスジューサ」と「表示調整」は使用できなくなります。プルバーの下には、表示中のイベントの数およびイベントの合計数をそれぞれ表示します。

表示エリア内のフレームは「ページ」と呼びます。各フレームは異なるイベントを含む10秒長のビデオシーケンスを1/2のスロー速度で表示します。

イベント数が9を超えたら、ページが複数になり、「ページup」/「ページDown」を使ってイベントを1ページごとに参照できます。また、現在のページ番号とページの合計カウントが表示されます。

「ページup／ページDown」

「ヒストグラムエリア」
ヒストグラムエリアにアクセスするには、カーソルでヒストグラムエリアを選択します。
プレビューモードでは、ヒストグラムエリアでイベントの発生時間およびモーション(動体)検知の変動比率(赤い棒グラフ)が表示されるほか、現在表示中のイベントが青い棒グラフで表示されます。
マウスの左ボタンを押したままドラッグすることで、反転表示部分を選択できます。

マウスの左ボタンを離した時点で、選択した範囲がヒストグラムエリア全体に拡大されます。反転表示されている部分が、当ユーティリティがこれから表示する新しい時間帯となります。
ドラッグせずにマウスの左ボタンをクリックすると、選択された時点に移動して表示フレーム内にビデオを再生します。
ヒストグラムの灰色部分は、同時間帯にビデオデータが存在しないことを示します。

「ヒストグラムの色別表示(凡例)」

「ヒストグラム」をクリックすると、ヒストグラム内で使用する各色の内容が表示されます。

7. 各機能の使い方

コントロールエリア内に表示されている各機能の使い方を解説します。

「セレクタ」

A .「場所」

閲覧するカメラを選択します。表示される場所の情報は、モニタユーティリティ内のビデオチャネルに関連付けられている場所名と同じものとなります。 1つの場所に複数のデータベースが存在するときは、「再生インターバル選択」ダイアログが表示され、期間を選択する必要があります。

B.「開始/終了時刻」

再生したいビデオの開始時間と終了時間を設定します。時刻を設定してからジョグダイアルの「最初から再生」をクリックします、表示エリアに新規期間のビデオの再生が始まり、開始/終了時間の表示も更新されます。また、プルバーとヒストグラムエリアの内容も変わります。選択された期間がデータベース上に存在しないときは、前回開始時間と終了時間が正しく選択された期間のビデオが警告メッセージとともに表示されます。

● *注意*

終了時間には、開始時間より大きい値を設定してください。

C.「再生方法」

・フルレンジ

選択中の「場所」のビデオが最初から終わりまで表示します。また、「開始/終了時刻」セレクタ内で変更しても反映されません。

・時間帯

「時間帯」を選ぶと、「開始/終了時間」セレクタで時刻が変更できるようになります。時間帯を設定したらジョグダイアルの「最初から再生」をクリックします。選択された期間のビデオが表示されます。

・イベントのプレビュー

標準モードからイベントプレビューモードに変更します。

再生ユーティリティは前回「時間帯」モードで指定された開始/終了時間を記録しています。このため「時間帯」セレクタを変更してほかの期間を閲覧するときは、必ず「再生方式」セレクタで希望のモードをまず選択する必要があります。この操作をしないと再生方法セレクタを最後に変更したときの期間に「時間帯」セレクタも戻ってしまいます。

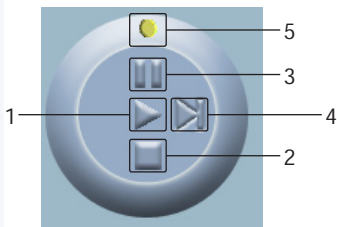
D.「アラート領域の選択」

「イベントのプレビュー」モードでは、1回につき1つの検出ウィンドウの情報のみ表示します。ほかの検出ウィンドウのイベントを見るときは「アラート領域の選択」で目的のウィンドウ番号に変更してください。標準表示モードで、モーション検知が有効なときは「アラート領域の選択」の示す検出ウィンドウが赤い枠でハイライト表示されます。

● *注意*

「場所」セレクタを変更すると、「アラート領域の選択」は初期状態でウィンドウ1に変更されます。

「再生コントロール」

再生のコントロール用に、使いやすいジョグダイアルを採用しています。「最初から再生」を除くすべてのボタンで、標準表示モードで表示中のフレームと、「イベントのプレビュー」モードで表示中のフレームをコントロールできます。

1. 最初から再生

「最初から再生」ボタンは非常に有効な機能です。標準モードでは、「再生」をクリックすると表示中のビデオを最初から再生します。「イベントのプレビュー」モードでは、「時間帯」を変更していない状態で「再生」をクリックすると選択中のビデオを再度再生します。「時間帯」が変更されている状態でクリックすると、全フレームを再起動して新しく選択された期間内の最初の9つのイベントを表示します。

2. 停止

表示中のビデオを停止します。「停止」をクリックすると、ビデオの再生が最初から始まります。

3. 一時停止/再開

表示中のビデオを一時停止します。表示を再開するには再度同じボタンをクリックします。

4. 早送り

ビデオを一時停止している間のみ使用できます。一回クリックするたびに、ビデオの次のフレームに進みます。

5. 高速再生、スロー再生

最高16倍までの高速再生と、最低1/16までのスロー再生をサポートしています。速度インジケータをマウスでドラッグするだけで速度を変更できます。速度を上げるときはインジケータを時計回り方向に動かし、速度を下げるときは逆方向に動かします。ステータスエリアの2段目に現在設定されている速度が表示されます。

「表示調整」

マウスカーソルを表示エリアに移動すると、「表示調整」が表示されます。各ツールを使って、通常表示モードではビデオの表示サイズを変更できます。

・ズームイン

「ズームイン」を一回クリックするたびに表示エリア内の画像が12.5%大きくなって表示されます。表示エリアの大きさの制限上、最大ズームイン比率はNTSCで2.25：1、PALで1.875：1までです。画像の細部を表示したいときは、同ツールボックス内の「フルスクリーン」をクリックしてください。

・ズームアウト

「ズームアウト」を一回クリックするたびに表示エリア内の画像が12.5%小さくなって表示されます。 場所および時刻情報を完全に表示させるため、ズームアウト比率は最小で0.5:1までとなっています。

・フルスクリーン

フルスクリーンボタンをクリックすると、ビデオを全画面サイズに拡大します。元のサイズに戻るために、画面中どこかをダブルクリックするかキーボードのESCキーを押します。

「レンジの調整」

マウスカーソルを「ヒストグラムエリア」のデータが存在する部分に移動すると、「表示調整」が、「レンジの調整」に変わります。「レンジの調整」の機能を使うことですばやく表示時間の範囲を変更できます。

特定のカメラのビデオデータ全体中、どの期間も10秒単位で閲覧できます。

・ズームイン

「ズームイン」を一回クリックするたびに、再生中のビデオの期間が中央部分で半分に縮小されます。なお最小期間は10秒となります。

プルバーおよびアラートヒストグラムウィンドウのスケールと期間の開始・終了時間も変化します。「開始/終了時間」も新しい時刻を表示します。表示エリアには、変更後の開始時間から新期間のビデオが表示されます。

・ズームアウト

「ズームアウト」を一回クリックするたびに、再生中のビデオの期間が中央部分で倍に拡大されます。なお、拡大は開始時間・終了時間ともにデータベース全体の時間制限の範囲内までとなります。

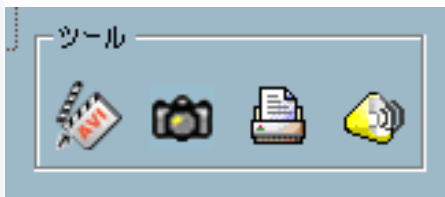
プルバーおよびアラートヒストグラムウィンドウのスケールと期間の開始・終了時間も変化します。「開始・終了時間」も新しい時刻を表示します。表示エリアには、変更後の開始時間から新期間のビデオが表示されます。

・フルスクリーン
「再生方法」で「フルレンジ」を選択したときと同じ効果を得られ、選択された場所のビデオが最初から終わりまでを表示します。

「メディア変換」

再生ユーティリティを使って、他メディアへのデータ・エクスポートができます。録画データをAVIファイルやBMPファイルに変換したり、印刷したりできます。エクスポートしたデータはWindows Media Playerや他プログラム上で鑑賞できます。

●*注意*

「標準」モードではすべてのエクスポート用ツールが使用できます。
「プレビュー」モードでは、スナップショットと印刷機能のみ利用できます。

・トランスジューサ

表示中のビデオデータをAVIファイルに変換します。「トランスジューサ」をクリックして変換中に再度同じボタンをクリックすると変換プロセスを中止できます。そのときは停止した時点までのAVIファイルが作成されます。エクスポートされたAVIファイルのファイル名を自動的に作成し、ステータスエリアの4段目に表示します。AVIファイルの品質を改善するためにビデオ形式を通常サイズに設定することをおすすめします。

・スナップショット

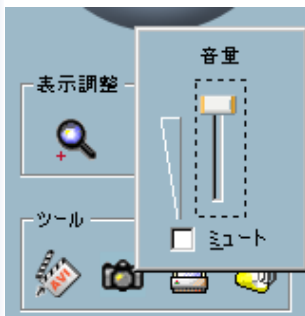
「スナップショット」をクリックすると、ビットマップ形式のイメージが保存されます。

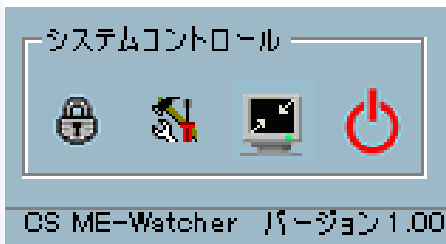
「通常表示」モードでは、表示中のイメージがビットマップとしてエクスポートされます。「プレビュー」モードでは、現在選択されているイメージがエクスポートされます。保存されたファイル名は自動的に作成され、ステータスエリアの4段目に表示されます。

・印刷

「印刷」をクリックすると、表示中のイメージを印刷できます。

・音量

「音量」をクリックすると表示される以下のダイアログで音量を調整できます。
また、「ミュート」のチェックをオンにすることで無音に設定できます。

「システムコントロール」

「システムコントロール」は､「ウィンドウをロック」､「設定」､「最小化」､および「終了」のボタンを含んでいます。

・ウィンドウをロック

コンピュータから離れるときは、セキュリティ上、ユーティリティを終了するか、メインウィンドウをロックします。

ロックボタンをクリックするとメインウィンドウが隠され、ログインダイアログが表示されます。メインウィンドウに戻るためには管理者(root)パスワードを入力する必要があります。

・設定

設定ボタンをクリックすると設定ダイアログが表示されます。詳細については､上記「設定」の項をご覧ください。

・最小化

最小表示ボタンをクリックすると再生プログラムは最小表示となります。ユーティリティを再表示させるにはタスクバー上の「CS ME-Watcher再生」をクリックするか､ランチャーから「再生」を選択します。

・終了

再生ユーティリティを終了します。AVIエクスポート処理中であった場合は、まず処理が停止されます。

付録

CS ME-Watcher ユーティリティは、各種のネットワークカメラに対応しております
各カメラの対応機能は、下記の対応表を参照してください。

●パン/チルト/ズーム機能の対応状況

	パン(P)	チルト(T)	ズーム(Z)
CS-MVTX01F	○	○	×
CS-WMV01G	○	○	○
CS-W02G	×	×	○
CS-WMV02G	○	○	○

●IPアドレス/パスワードの初期値

	IPアドレス	パスワード
CS-MVTX01F	192.168.1.100	password
CS-WMV01G	192.168.1.100	password
CS-W02G	192.168.1.200	password
CS-WMV02G	192.168.1.200	password

※ 最新の対応状況は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp/)を参照してください。